



岬のまちから元気を発信

なぶら御前太鼓保存会



PROFILE 御前崎地区の女性を中心とした中学生から大人までの計19人のメンバー。毎週水曜日と土曜日の夜、文化会館で練習している。現在、メンバーを募集中。問い合わせは、御前崎市観光協会 0548③2001まで。

イベントに華を添える

なぶら御前太鼓保存会は、旧御前崎町の商工会女性部がまちおこしの一環として始めたもの。今年で20年目となる節目の年を迎えた。

鮮やかな大漁旗で作られた法被を身にまとい、ダイナミックな動きと華麗なバチさばきが見る者を魅了する。

毎年恒例の、みなと夏まつりや大産業まつりなど市内のイベントに参加し、会場を盛り上げる。市外のイベントなどにも足を運び、御前崎市を広くアピールしている。昨年6月には、文化会館で発足後初めての単独公演を開催した。なぶら御前太鼓を一目見ようと会場には大勢の観客が訪れ、公演は大成功を収めた。

後世に伝えるために

同保存会が、20年を迎えるまでの道のりは決して平坦ではなかった。「発足当時は、太鼓が用意できず各地区から太鼓を借りて練習をしていたんです。イベントで演奏しても、見てくれる人は数人でした。自分たちの技術も低く、

人前で太鼓を披露して恥ずかしいと思うこともありまし」と代表を務める増田さんは当時を振り返る。

「太鼓が好きで、何よりも多くの人たちの理解と協力があったからこそ、20年も続けることができたんです。みんなが心をついに一つにして、一生懸命太鼓と向き合えば、見てくれる人に思いは伝わる。保存会の魅力は、全員の一生懸命な姿です」と力強く話す。

発足当時からメンバーは、「これからも、なぶら御前太鼓を残していきたい」と口をそろえて話す。現在は、後継者の育成にも取り組んでいる。見ている人を元気に、これからも素晴らしい文化を残してほしい。

